



2022年度 人財育成研修について

株式会社ミライト・ワン

はじめに

2022年7月1日、株式会社ミライト・ホールディングス、株式会社ミライト、株式会社ミライト・テクノロジーズの3社が統合し、株式会社ミライト・ワンが誕生しました。

今回の経営統合により設立された新グループ会社「株式会社ミライト・ワン」では、今後10年の変化や成長のための基礎固めをし、地域やグローバル分野も含めてグループとして変化し成長していくことを目指します。そのため、5つの事業変革「5 Changes」を実現するため、『人間中心経営』をChange 1に位置付け、事業変革の中心に据えています。私たちの事業は、名実ともに人で成り立っており、人が成長しなければ事業が成長することはあり得ません。その原動力となるのが「人財育成」です。

それでは、ミライト・ワンの人財育成研修について紹介します。

1. 企業内大学みらいカレッジ

2022年7月、グループ会社およびパートナー会社も含めた人財育成を目指し、「学び」と「つながり」をキーワードにした、「みらいカレッジ」を開学しました(図1)。

リスキリングを促す「みらいカレッジ」をスタート

「学び」と「つながり」を提供する **“事業構造改革の原動力”**

2022年10月時

講座数	3学部 約160講座
テクニカル学部<技術力>	
マネジメント学部<マネジメント能力>	
ソーシャル学部<ESG>	
登録者	1万3千名
ミライト・ワングループ約50社/パートナー約20社	
コミュニティ機能の活用	

リアルキャンパス

デジタルキャンパス

図1 みらいカレッジイメージ図

「みらいカレッジ」では、ラーニングマネジメントシステム(以下、LMS)を活用し、研修の一元管理、個人のキャリア開発プログラム(以下、CDP)の検討、自組織の資格保有状況・研修受講状況の把握、組織をまたぐコミュニケーションが可能となります。技術系資格取得講座や技術スキルに特化した「テクニカル学部」、階層別やチャレンジ研修の「マネジメント学部」、基本ビジネスや一般常識や社会情勢等の学びを広く得られる「ソーシャル学部」の3分野に分かれ、合わせて約162講座があります。また、利用者也順次拡大しており、現在は約13,000名が利用可能で、グループ会社やパートナー会社の社員も利用できるキャンパスです(2022年10月末時点)。

具体的な活用について説明します。

みらいカレッジの研修は「デジタルキャンパス(研修)」と「リアルキャンパス(研修)」で構成し、「デジタルキャンパス」はeラーニングを中心に豊富な講座を用意し、「リアルキャンパス」では集合研修や技術の実地研修など、対面で実施します。

「デジタルキャンパス」は、「いつでも」、「どこでも」自分が必要とする研修を受講でき、自分のタイミングや隙間時間を使って効率的に学習ができます。

一方、リアルキャンパスでは事前課題・事後課題の提出や案内などをLMSで一元化することで、受講者と研修担当者双方の効率化も図れます。

また、CDPの表示機能を使って、自身の立ち位置と今後目指す方向、そこに向かうために具体的に必要なスキルや資格をわかりやすく表示しました。加えて自身と上長は資格保有状況および研修受講状況の履歴が見えるため、やるべきことをより明確化しました。

最後に、出会いの場、横(組織間等)のつながりを深めるべくLMSの機能を使ってサークルのようにテーマごとに自身が気になる部屋(ルーム)を作り、自由に交流できます。LMSに登録している人は誰でも対象者になります。例えば特定の資格試験の勉強のコツを共有するルームを作り、今後の受講者であれば、どの組織からでもその部屋に登録し情報を共有できます。各ルームでは、技術や知識の共有を図るなど、たくさんの可能性を

秘めています。

2. 階層ごとマネジメント研修

ミライト・ワンの発足を契機として4月から、新入社員189名（ミライト・ワン傘下グループ会社含む）に安全、コンプライアンス、メンタルヘルスをはじめ、社会人として必要なビジネスマナーやマインドチェンジのほか、ESGおよびDX入門など研修内容に沿って集合、オンラインにより効果的な幅広い知識の習得、マインドを醸成するための研修を実施しました。

また、次年度に向け、主要グループ会社（㈱TTK、㈱ソルコム、四国通建㈱、西武建設㈱、㈱ミライト・ワン・システムズ）との新入社員の合同研修開催の検討を進めています。

そのほか、各階層（グレード）の昇格者を対象に階層ごとに求められる役割とそのために必要不可欠なスキルと経験すべきことを理解し、社員がCDPに基づき、自

ら描く人材像のマネジメントスキルやポータブルスキルを習得します。自身の強み弱みを振り返り、マインドをチェンジし成長していくマインドの醸成も目指します。このほか、DX・ESGなど成長戦略に着目した研修を実施しています。

3. テクニカル（技術系）研修

「みらいカレッジ」における「リアルキャンパス」としては「市川キャンパス（千葉）」「熊谷キャンパス（埼玉）」「六甲<神戸>キャンパス（兵庫）」の3拠点があり、それぞれのキャンパスでテクニカル研修におけるリアル（集合）と各拠点を結んだりリモート研修を効率的に使い分けて実施し、人財育成推進に取り組んでいます。

リアル系研修内容としては、JV移管された各種基礎研修、安全研修等を実施しています（写真1・2・3基礎線路科、基礎所内科、危険体感）。「2022年度 基礎所内科」では、ミライト・ワングループの㈱ソルコム、



写真1 基礎線路科研修



写真3 危険体感研修 ①



写真2 基礎所内科研修



写真3 危険体感研修 ②

四国通建(株)との合同集合研修を実施し、受講者同士での交流も深めてさらなるグループ一体感の醸成、スキル向上につなげています。

また、「六甲キャンパス」では、複合技術者育成推進として、固定系通信設備と無線系通信設備の工事・保守を複合的に行うことができる複合技術者育成として、研修用鉄塔を活用し模擬アンテナの吊り上げ・吊り下げ・取付け等の実技を含めた研修を実施しています（図2・写真4）。

今後の展開として、「市川キャンパス」における同様の研修実施検討を進めるとともに、ミライト・ワングループとして研修を統一化します。

リモート研修の一例としては、複合技術者拡大に向けた第一種および、第二種電気工事士等各種資格取得支援研修等を各拠点と中継を結び実施しています（写真5）。

今後、さらに各キャンパスでの各種ルータ等環境構築を行いLAN/WAN技術者育成研修への取組みを図り、ミライト・ワングループ新たな事業領域分野への人材育成推進につなげていきます。



写真4 鉄塔模擬アンテナ取付等研修



写真5 資格取得支援研修

「固定系+無線系」複合技術者育成推進イメージ



図2 「固定系+無線系」複合技術者育成推進イメージ